

ホタル通信

No. 151-1 2016. 11. 16

<小山のホタルと自然を守る会>

HP:<http://www.oyama-hotaru.com/>

事務局 Tell:042-797-1851



イムラ封筒さん達の下草刈り (11月5日)

イムラ封筒さんの CSR 活動の皆さんが片所谷戸の下草刈りをしてくださいました。

毎年来てくださいます。今年は、子どもさんも入れて20名来てくださいました。



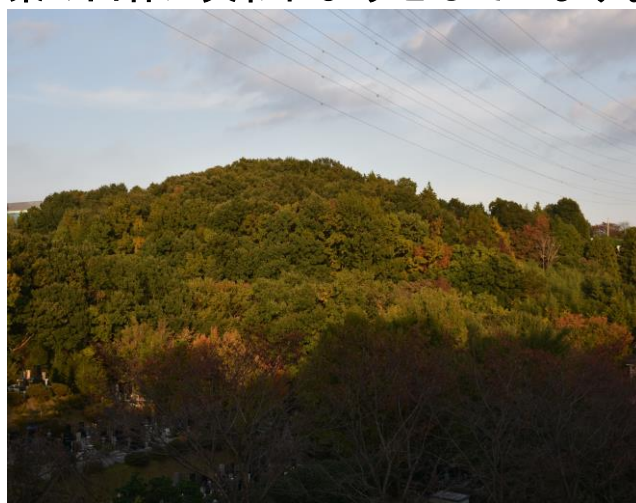
3号緑地の篠竹等を中心に下草を刈っていただきました。子どもさんもお母さんの刈った草を運んだりし、一生懸命働いていました。

働いた後、皆で談笑しながら、昼食を食べていました。

おかげさまで、ホシザクラ、ヤブザクラ等が元気に育っています。

写真は、3号緑地の上段です。ホシザクラとヤブザクラが見られますね。私たちが観察を始めた頃は幼木だった木ももう3M以上になり、子どもの木や枝をいっぱいだし、春には花をいっぱい咲かせ、近くの道を通る人達(多くは小山中央小学校へ通う子どもたち)を楽しませてくれます。

東の山林が失われようとしています。



(片所谷戸東の森 11月13日撮影)

片所谷戸の東の山林がなくなろうとしています。民有地です。市に買い取るよう請願しました。しかし、願いは叶いませんでした。市は私たちの請願を分かってくださり、買い取ろうとして、地主と交渉したのですが、地主は「宅地並みの値段だったら売る。」と言いつつ、山林を宅地として買い取る仕組みがないと言う事で、買えませんでした。

工事を止められませんでした。(裏面参照)。

この東の山林が失われる事により、第一に心配されるのが、ホタルが発生している川の湧き水です。湧き水が少なくなったり無くなれば、ゲンジボタルの幼虫は川の中で生きられなくなるでしょう。そして、林が無くなれば、昆虫達、野鳥達は何処へ行ってしまおうでしょうね。

何としてでも、水の確保はしなくてはなりません。私たちは、東の山林に残されているホシザクラ・ヤブザクラ・マメザクラ等を、自分たちで移植できるものは自分でしていますが、出来ないものは、工事の人達に移植を要請しています。

12月作業予定

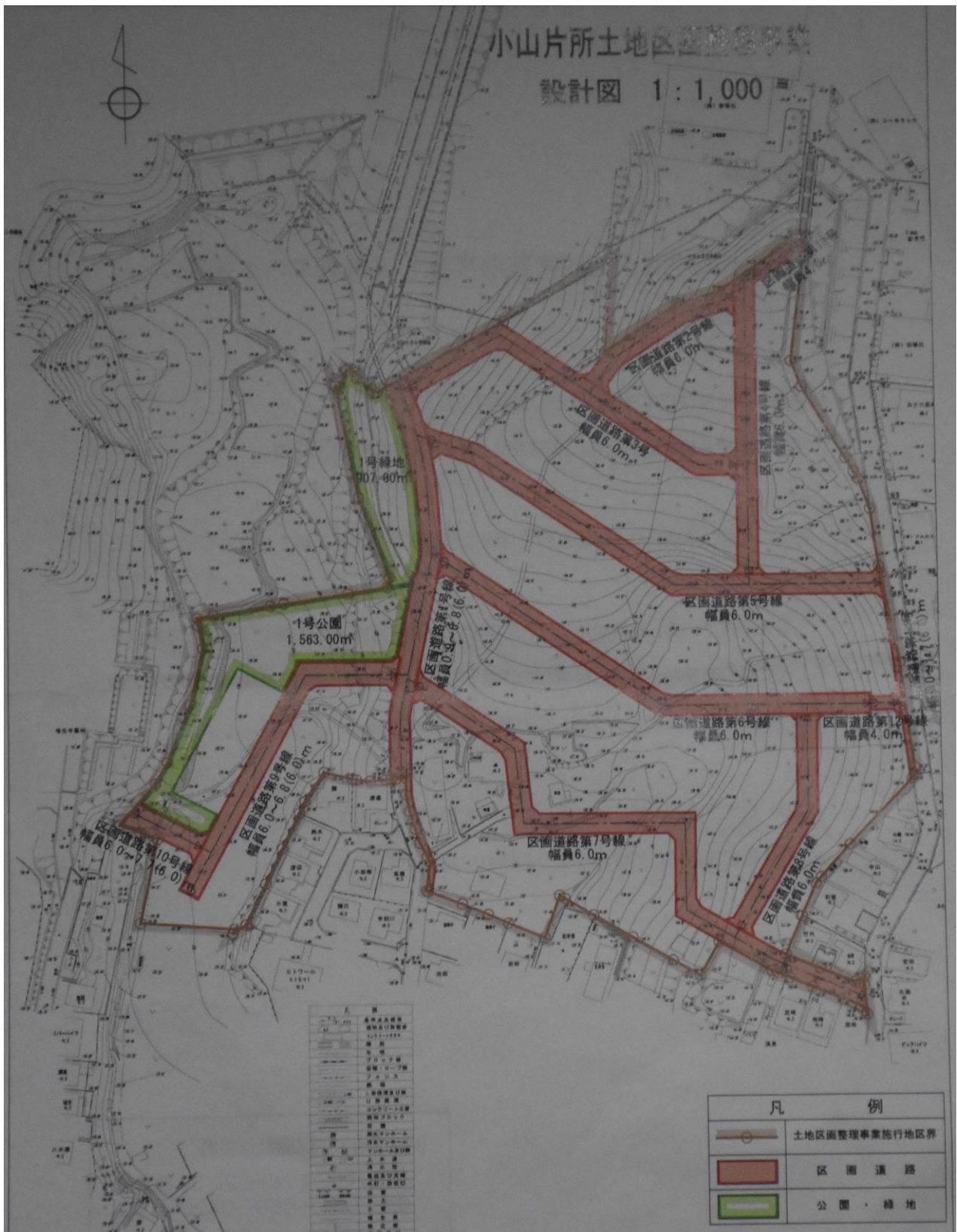
12月10日(土) 9時30分~

作業不可能の場合は翌11日(日)

作業: 東自生群生地下草刈り, 幼木保護

剪定ばさみ、鎌等お持ちください。

東の山林の開発予定図です。



工事の見通し

28年11月→木の伐採工，仮設道路工， 12月→防災施設工、地区外排水設備工

地区内既設歩行者通行止め 28年12月～31年4月

29年2月→地盤対策工，切盛り土工，整地工……

※通行等にご注意ください。